

# 新型コロナウイルス感染症対策特集 海外トピックス【臨時版】

VOL. 02

- 世界中で感染拡大している新型コロナウイルス感染症。特徴ある対策を実施している国や駐在員事務所のある国・地域を中心に、各国の「今」をお伝えする、駐在員トピックス臨時版の第2号です。各事務所から情報が届き次第、随時発行します。

韓	国	帰国者からの二次感染を防ぐための「家族安心ホテル」
台	湾	「エアロゾル・ボックス」の製作、防疫に関する啓発



1 要旨

韓国では感染が拡大している地域から入国した人について、PCR検査のいかんにかかわらず、位置情報の提供、健康状態の報告及び14日間の自宅隔離が義務付けられている。

一方、家族と自宅待機者の徹底的な分離が難しい中、家族間の二次感染が懸念されている。このため、帰国者が自宅待機する間、その家族が割引価格で滞在できる「家族安心ホテル」を自治体が提供している。

2 家族安心ホテルの概要

区 分	内 容
制度の実施者	ソウル九老区・麻浦区・恩平区、忠清北道丹陽郡など
対 象	海外入国者の家族（以下の証明が必要） ・家族が海外からの入国（予定）者であることを証明するもの（航空券又は空港で発行する自宅隔離者確認書） ・家族であることを証明するもの（住民票又は家族関係証明書など）
利用可能期間	・14日間（帰国者の入国前日から利用可能） ・PCR検査の結果、陰性が確認された家族は隔離期間の途中からの利用も可能
利用料金	一般の宿泊料の30～40%（60%～70%は各自治体が負担）
メリット	・帰国者は家族感染を恐れずに帰国できる。 ・二次感染が予防できることで、家族は帰国者を安心して受入れすることができる ・自治体は、地域内の感染拡大を防ぐことができる。 ・宿泊業者は少ないリスクで、宿泊者が減少したホテル業の活性化につなげることができる。
その他	・自宅に着くまでに感染を広げることがないように、帰国者には空港から専用の送迎制度（有料）がある。

## 1 主旨

新型コロナウイルスによる感染症対策において、台湾における取組みから、日本国内（静岡県内）でも実行可能と思われるものを紹介する。

## 2 台湾における取組事例



## (1) 「エアロゾル・ボックス」の製作

検体採取時や気管挿管中に、医療従事者の顔を患者から効果的に遮蔽しながら腕を自由に動かして必要な作業を行えるようにするもの。医療従事者を守り、院内感染を防ぐ効果が期待される。台湾の医師がデザインし、製作に必要な情報を公開している。



写真出典：頼賢勇医師 HP

## 関連情報

<p>台湾の Dr. Hsien Yung Lai（頼賢勇医師）による情報公開 （設計図あり）</p> <p><a href="https://sites.google.com/view/aerosolbox/">https://sites.google.com/view/aerosolbox/</a></p>	
<p>それを利用して日本国内で製作したもの（埼玉県内企業）</p> <p><a href="https://medical.jiji.com/prtimes/12424">https://medical.jiji.com/prtimes/12424</a></p>	

## (2) 防疫に関する啓発

台湾では、新型コロナウイルスによる感染症に関する正しい理解と対策等に係る啓発をテレビや新聞、SNS等のメディアを通じて発信している。住民一人ひとりの不安を取り除き、早期のリカバリーにつなげることを目的としている。

台湾では、中央疫情指揮中心（以下、センターという。右図は指揮官）が毎日定例で開催（新たな感染者が出ていなくても開催）する感染症に関する記者会見でメディアからの質問にすべて答え、感染状況に関する情報が透明となっていることから、センターに対する市民の信頼



写真出典：衛生福利部「防疫大作戦」HP

度が9割を超えている。センターは組織横断的に他の部署を統制し、情報発信を一元化しており、市民に対する協力の呼びかけも同時に行っているが、信頼度が高いため、市民には協調的な雰囲気共有されている。

#### 関連情報

衛生福利部「防疫大作戦」

<https://www.facebook.com/TWCDC/videos/585363735378264/> (QRコード)



(媒体) テレビ、facebook、YouTube で閲覧可能

(内容) 新型コロナウイルスによる感染症の正しい理解

自主隔離などの解説

ソーシャルディスタンスの解説と協力の呼び掛け 等